

# ジュニア

# ミュージアム



した。家で、たくさん練習しました。  
大なわで、わざとひつかつたりして、工夫しました。

自分たちで、段ボールに、色をぬつたり、画用紙をはつたりしました。お茶とか、みかんとかも作りました。みかんは、むいてあるように作りました。

そして、本番、私は、「練習通りうまくいくかなあ。」と、ドキドキしていました。そしたら、練習通りうまくきました。

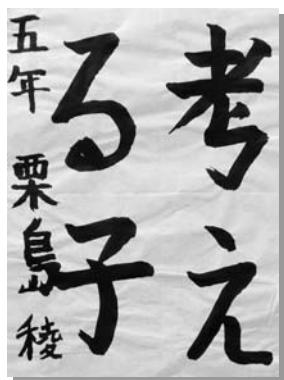
大なわも、練習みたいに、ひつかかる人はひつかつて、とぶ人はとんで、私は、「ひつかつちゃつたらどうしよう。」と思つて、すごくきんちょうしました。でも、成功しました。

ほかのクラスの人や、先生たちも、すごく、笑ってくれました。私は、「よかったです。みんな、すごく喜んでくれた。」と思いました。

## 「もりんくん」

皆野小2年(1年生の時の作品です)

吉田 隆哉くん



栗島 梨ぐん

皆野小6年(5年生の時の作品です)

国神小6年(5年生の時の作品です)  
大澤 美那さん

中川 実歩くん

皆野中2年(1年生の時の作品です)  
「タロの紅簾片物」



(評) 夕日の荒川がとても美しく描かれています。



山口 葵さん

「楽しそうな  
六年生を送る会」  
三沢小5年(4年生の時の作品です)

私のクラスでは、「タイムスリップのさせき」という書きを作りました。

この書きは、六年生をイメー

ジして、自分たちで六年生のためを作った書きです。

私は、おばあさん役になりました。

(評) 六年生を送る会当日の自分の心の動きが、よく書けています。

(評) 長いくびや、ふさふさのたてがみをくぶうしましたね。やさしそうなきりんくんです。



大澤 美那さん

国神小6年(5年生の時の作品です)

中川 実歩くん

皆野中2年(1年生の時の作品です)  
「タロの紅簾片物」

